

木造住宅コンクール

木の良さを活かした長崎の住宅

2007 第11回

作品集





毎年、数多くの住宅が建設されている中、わが国の風土に育まれた木造住宅への愛着は根強いものがあり、長崎県でも住宅の多くが木造となっています。また、木材は人にやさしいだけでなく、繰り返し生産可能な資源であり、二酸化炭素を大気中から吸収し蓄えることから、木材の利用を促進することは、環境に負荷を与えない循環型社会を創ることにもつながってきます。

長崎県では、木の良さを活かした良質な住まいづくりを進めるために、昭和62年から2年に1度「長崎県木造住宅コンクール」を開催し、今回で第11回を迎えました。

今回も、県内各地から76点もの作品をご応募いただき、木造住宅に対する県民の皆様の関心の高さを改めて認識いたしました。

受賞作品は、木の良さを活かした住宅であることは言うまでもありませんが、消費エネルギーの抑制や節約に配慮した住宅、古い民家で使われていた建具、現在では手に入りにくい古い木材を再生させた住宅など、建築主の思い入れが明確に示され、また、造り手である設計者や施工者の工夫が隅々にまで感じられるものとなっています。

今回は、子育てを終え、第二の人生を快適に暮らすための作品など、多様なライフスタイルに対応した魅力ある住まいづくりの提案がなされています。

この作品集がこれからの住まい方や木造住宅の方向性を示すモデルとして、県民の皆様の住まいづくりの参考になれば幸いに存じます。

県といたしましては、「住みたい・住める・住み続けられる長崎県」の実現に向け、地域の特性を活かしながら、安全で安心して暮らせる、質の高い住まいづくりに積極的に取り組んでまいります。

終わりに、このコンクールの実施にあたり、ご尽力を賜りました関係団体の皆様並びに作品の厳正な審査にご協力いただきました審査委員の皆様へ、厚くお礼申し上げます。

平成20年3月
長崎県知事 金子原二郎

審査を終えて

今回の木造住宅コンクールは第11回を迎え、応募作品は76にものぼり、その数の多さのみならず、全体的に質の高い作品が多く集まりました。このコンクールが、着実に広がり支持を得ていることを実感しました。

書類ならびに写真をもとに第1次審査にて入選以上となる14作品を選び、第2次審査ではこれらを現地に尋ねて見学し、各賞を選考しました。そのポイントは、

- 1)長崎の気候・風土・地域の特性に適しているか
- 2)現在のライフスタイルに適応した機能を持っているか
- 3)木の良さを活かした木造住宅か

というものです。いずれも力作ぞろいでしたが、慎重に議論を重ね、最優秀賞1点、優秀賞3点、特別賞1点を決定しました。

最優秀賞のF邸(西海市)は、緑に囲まれた西斜面の南北に長い棚田跡の北端に、切妻の大屋根がかかり、南と西に木製デッキが囲われた住宅です。恵まれた自然環境を満喫し、開けた眺望を楽しめます。また、杉、漆喰、竹紙などの自然素材と、OMソーラシステム、廃熱利用、雨水・生活排水の浄化システムなどの科学的な装置が無理なく調和し、現代の田舎暮らしにふさわしい民家です。

優秀賞のI邸(長崎市)、S邸(佐世保市)、I邸(大村市)の3作品は、住み手の個性、志向が木を活かした内部空間に表れており、同時に、周囲の環境を活かしたり、配慮した木造住宅となっており、他の入選作品より一歩優れたものになっていました。

今回、国の登録文化財、及び長崎県の景観資産に登録された武家屋敷を修復・改修したO邸(平戸市)を特別賞に選定しました。全体の約1/3が構造体まで撤去新設され、残りを補修したものであり、伝統を継承して住み続けることを可能にした点を評価しました。

入選作品はいずれも、甲乙つけがたく、個性的な住宅が集まりました。ただ、少し気がかりな点は、比較的郊外に建つ住宅が多かったことです。市街地では、防火性能に関する規制により、木造を全面に表現することが難しいことも原因の一つでしょうか。

住宅は、住み手にとって生涯で一番の高価な財であり、生活の基本を支え、家族の交流を育む場です。この住み手と設計者、施工者が一体になって住宅が生まれ、住み続けられてその価値がより高まります。

今後とも、地域の環境に配慮した、まちづくりに貢献する良質な木造住宅が増えていくことを期待します。

審査委員長 伴文 正志

●●●● 応募状況

- (1)応募期間 平成19年6月1日～10月1日
- (2)応募概要 応募総数 76点

●●●● 審査委員

- | | |
|--------|---------------------------|
| 伴文 正志 | 長崎総合科学大学建築学科准教授 |
| 吉原 殖男 | 長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会会長 |
| 川島 邦元 | (社)長崎県建設業協会建築委員長 |
| 松川 京子 | (社)長崎県建築士会女性委員 |
| かくくにく | シニアライフアドバイザー |
| 呉 祐一郎 | 長崎県土木部まちづくり推進局長 |
| 学生審査委員 | 大学に通学しており住宅について興味のある人(5名) |

●●●● 対象となる住宅

- (1)用途・構造 戸建て専用住宅・木造
- (2)規模 延床面積280m²以下
- (3)建設地 長崎県内
- (4)建設時期 平成17年11月1日～平成19年9月30日の間に完成した住宅

●●●● 表彰

- | | |
|------|----|
| 最優秀賞 | 1点 |
| 優秀賞 | 3点 |
| 入賞 | 9点 |
| 特別賞 | 1点 |

主催 長崎県

後援団体

NBC長崎放送／KTNテレビ長崎／NCC長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ／NHK長崎放送局／(株)長崎新聞社／(社)長崎県木材組合連合会／(社)長崎県建築士会／(社)長崎県建築設計事務所協会／(社)長崎県建設業協会／(社)長崎県中小建設業協会／(社)長崎県工務店連合会／長崎県住宅供給公社／(財)長崎県住宅・建築総合センター

CONTENTS

最優秀賞



04
ページ

西海市 F邸

棚田跡に建つ
太陽光・通風・雨水・排水を活用した
自然環境志向の大屋根の現代住宅

優秀賞

<3点>



06
ページ

長崎市 I邸



08
ページ

佐世保市 S邸



10
ページ

大村市 I邸

入賞

<9点>



12
ページ

雲仙市 K邸



13
ページ

佐世保市 O邸



14
ページ

長崎市 T邸



15
ページ

長崎市 T邸



16
ページ

諫早市 I邸



17
ページ

諫早市 S邸



18
ページ

佐世保市 S邸



19
ページ

松浦市 U邸



20
ページ

南島原市 K邸

特別賞

<1点>



21
ページ

平戸市 O邸



最優秀賞

棚田跡に建つ
太陽光・通風・雨水・排水を活用した
自然環境志向の大屋根の現代住宅

西海市 F邸

DATA

設計者	結設計室
施工者	株式会社浜松建設
建設地	西海市大瀬戸町
敷地面積	594.88m ²
1階床面積	117.33m ²
2階床面積	61.14m ²
延床面積	178.47m ²





居間から左に和室、奥に台所



書斎



住宅の特徴

敷地は、玄界灘を望む、周囲を山の緑に囲まれた西斜面の南北に細長い棚田跡。木造軸組工法で周囲の環境になじむ大屋根のおおらかな外観と国産の木をたっぷり使った伸びやかで、心癒される住まい。

日照や自然の風と空気の流れを考慮し開口部を設置。0Mソーラーシステムに加え、夏場の屋根裏の排熱も考慮。合板は使わず、柱、梁、造作材は杉、床板は40mmの厚板。漆喰、竹紙などの自然素材を使用。雨水利用や高性能な生活排水の浄化システムも設置した。





優秀賞

古民家の建具と最先端素材を活かした
木の香り漂う郊外平屋建て住宅

長崎市 I邸

DATA

設計者	梵建築工房
施工者	木の香工房
建設地	長崎市松原町
敷地面積	844.95m ²
1階床面積	106.04m ²
延床面積	106.04m ²



北側エントランスポーチ



居間からホール方向



ホールから居間

居間から台所方向



住宅の特徴

木造平屋建て小住宅のひとつの典型ともいえる良質な住宅です。手のひらがつくほどの低い軒と深い軒の出が特徴で、重心の低い建物に仕上がりました。殆どの室内の天井は杉板の勾配天井でそのまま外部軒天井へとつながり、空間に伸びやかさを感じさせます。

特に居間とホールの建具(木製)は障子ともども全引き込み式で、開放すると低い軒下の濡れ縁と一体となり、本来の日本建築が持っていた内外がつながる空間となります。明治時代始めに建設された長崎市内の古民家に使われていた建具を解体時に入手し、内部建具の一部にはめ込んでいます。

木構造は全て国産の乾燥杉材を使用し、断熱材は羊毛ウールを使っています。





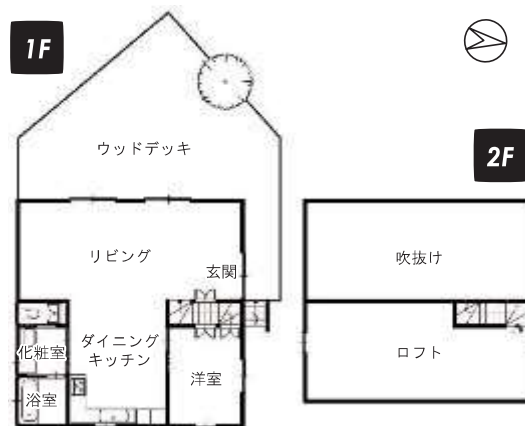
優秀賞

ヨットハーバーに望む木製デッキをもつ
趣味を体現した別邸

佐世保市 S邸

DATA

設計者	有限会社トモハウス 二級建築設計事務所
施工者	有限会社トモハウス
建設地	佐世保市船越町
敷地面積	426.00m ²
1階床面積	67.00m ²
2階床面積	37.00m ²
延床面積	104.00m ²





リビング



リビング



2階ロフト



住宅の特徴

この団塊世代の館は、都会の忙しい日々を抜け出し、趣味のクルーザーを前にして、自給自足のリゾートライフの場、熟年男性の別宅である。

長崎県産の自然素材の杉、桧を多く取り入れたリビングは快適空間である。また、全面に張り出したウッドデッキから眺める九十九島の島々に落ちる夕日は、建物色彩にいろいろな変化をもたらす。





優秀賞

ミニ郊外団地の自然木の温もりの中で
子どもとともに育つ住まい

大村市 I邸

DATA

設計者	住まいの企画室 ウィズ
施工者	株式会社浜松建設
建設地	大村市竹松本町
敷地面積	364.940m ²
1階床面積	145.921m ²
2階床面積	37.392m ²
延床面積	183.313m ²





食堂・台所



玄関



洗面所



居間から和室を

住宅の特徴

家は買うものではなく造る物。そして住むのは設計者ではなく依頼者です。何回も何回も打ち合わせをして形になりました。住む人の思いに耳を傾け、言葉やお顔の表情を見ながら、あるいは日常生活を拝見しながら設計に必要な資料を見つけます。

高温多湿の風土では東西南北、風の通りを良くし、空気(風)の行き止まりを作らないことが生活に快適さをもたらしています。数年後、塗装をしていない板や柱の自然な色合いの変化が楽しみです。

この家は、未来の職人の育成にもつながる様に施主様の理解を頂き、職人さんが木材に墨付けをして、カンナやノミで一本一本削って上棟を迎えました。子供達にはどこに居てもご両親に見守られながら成長してほしいという思いから、ダイニングに学習スペースを設けています。料理をしながら子供達と一日の

出来事に会話が弾んで欲しい。子供達には、柱に落書きや傷をつけながら、たくましく、しなやかに成長して頂きたいものです。そして、大切な事は、家が出来上がってからも、私と施主様との末永いお付き合いのスタートだという事です。



入賞

地場材と大工技術を継承した 3世代が住む旧家の建替え住宅



雲仙市 K邸

DATA

設計者	石山義朗建築設計事務所
施工者	庄崎工務店
建設地	雲仙市吾妻町
敷地面積	1041.47m ²
1階床面積	196.74m ²
2階床面積	27.54m ²
延床面積	224.28m ²

住宅の特徴

地場産材にこだわり、雲仙岳の葉枯らしした檜を構造材へ、破風・軒裏には杉を用いました。工事は棟梁の手刻みによるもので伝統技術の継承に心掛けました。





入賞



周りの環境にとけ込んだ形態・色彩をもつ
若い世帯の郊外住宅



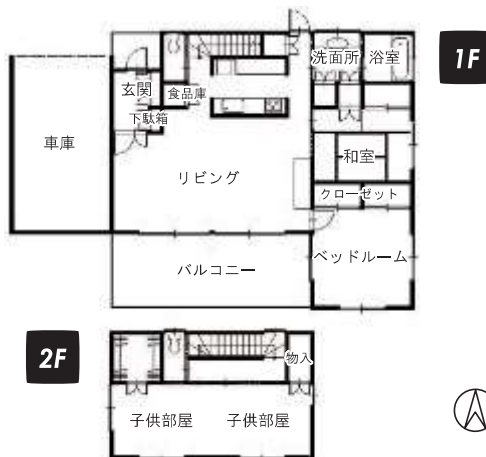
佐世保市 O邸

DATA

設計者	有限会社トモハウス 二級建築設計事務所
施工者	有限会社トモハウス
建設地	佐世保市船越町
敷地面積	482m ²
1階床面積	110m ²
2階床面積	33m ²
延床面積	143m ²

住宅の特徴

海を臨むのどかな場所に立地し、自然の環境に調和するよう、色や外形に配慮し住宅全体が周囲に溶け込むようデザインしました。





入賞



城下町の佇まいを残す風情のある景観と
日照・通風・断熱を重視した現代民家



長崎市 T邸

DATA

設計者 ミヤザキ建築設計事務所

施工者 総合建設業
有限会社百武建設

建設地 長崎市深堀町

敷地面積 634.68m²

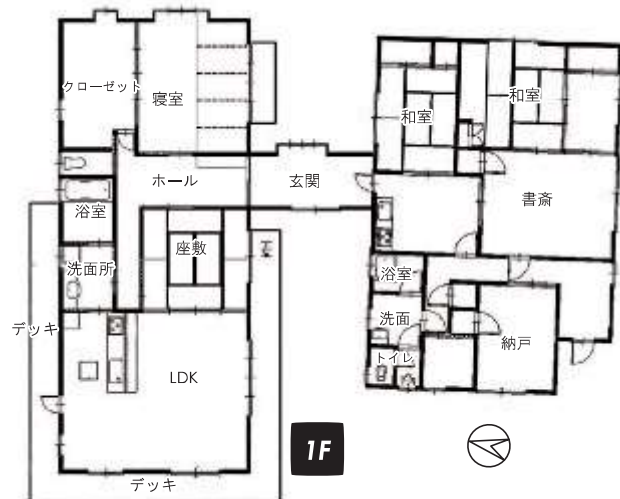
1階床面積 122.48m²

2階床面積 12.00m²

延床面積 134.48m²

住宅の特徴

湿気が多い敷地でもあり日当たりを良くするため住宅の床を高床式とし、内部はシックハウス対策として無垢の杉と檜を使用、壁は珪藻土としました。





入賞



市街地に建つ中庭と
スキップフロアをもつ現代的な住宅



長崎市 T邸

DATA

設計者	鶴巻デザイン室 二級建築士事務所
施工者	株式会社浜松建設
建設地	長崎市本原町
敷地面積	141.80m ²
1階床面積	66.06m ²
2階床面積	65.67m ²
延床面積	131.70m ²

住宅の特徴

都市型住宅地の中にあるため、屋内外に物干しスペースをとり入れ、生活空間に配慮した住宅で、エントランスはパーキングスペースとし、電車軌道の敷石を再利用しました。



1F



2F



入賞



郊外団地に建つ
各部屋に嗜好を存分に発揮した中庭型の住宅



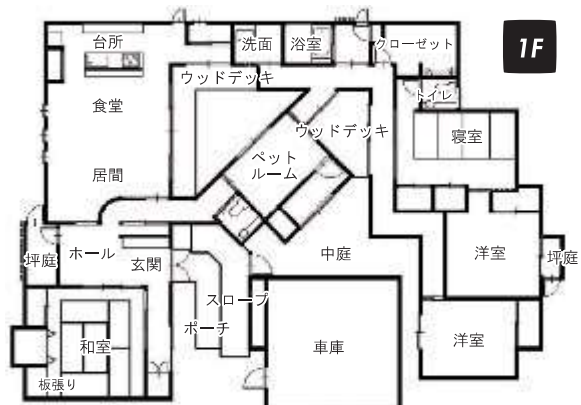
諫早市 I邸

DATA

設計者	有限会社 アクトホーム 一級建築士事務所
施工者	有限会社 アクトホーム
建設地	諫早市白岩町
敷地面積	463.91m ²
1階床面積	196.32m ²
車庫面積	33.46m ²
延床面積	229.78m ²

住宅の特徴

玄関から2方向の動線を確保しました。日当たりと風通しのいい場所が愛犬の部屋、家族の顔がいつも見え一緒に遊べます。





入賞



火山灰の天然素材を使い、
黒を基調とした現代和風の平屋建て住宅



諫早市 S邸

DATA

設計者 風の森プランニング
浜松建設一級建築士事務所

施工者 株式会社浜松建設

建設地 諫早市高来町

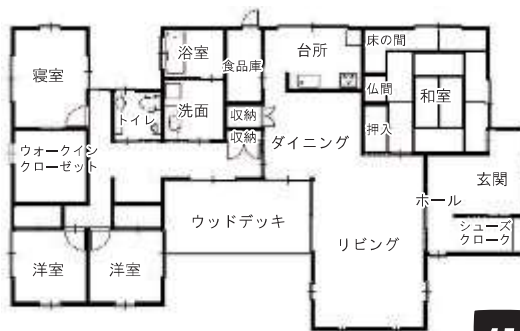
敷地面積 492.33m²

1階床面積 155.68m²

延床面積 155.68m²

住宅の特徴

住まいの外観は黒を基調としたシックな平屋です。造り付けの家具や建具は全て手作とし、また、木材をふんだんに用いることで木の温もりを感じる住宅となりました。



1F



入賞



長いデッキとテラスをもつ
切妻大屋根に覆われた上下2世帯住宅



佐世保市 S邸

DATA

設計者	IEG design
施工者	株式会社 坂元木工工芸
建設地	佐世保市白岳町
敷地面積	425m ²
1階床面積	160m ² (内自動車車庫40m ²)
2階床面積	130m ²
延床面積	290m ² (内自動車車庫40m ²)

住宅の特徴

2世代住宅、別々の玄関を設け1, 2階を住み分けし、相互のプライバシーを確保しつつも内部に連絡扉を設け両親との繋がりを大事にしました。



1F

2F





入賞



漆喰と木をベースにし
大屋根が印象的な郊外住宅



松浦市 U邸

DATA

設計者	株式会社大成住宅
施工者	株式会社大成住宅
建設地	松浦市星鹿町
敷地面積	314.94m ²
1階床面積	102.90m ²
2階床面積	39.98m ²
延床面積	142.85m ²

住宅の特徴

全体として和の雰囲気が漂う住宅であり、外観にも木の柔らかさを感じられる色合いにしました。





入賞



2つの建物をつなぎ
広いデッキをもつ郊外の2世帯住宅



南島原市 K邸

DATA

設計者 風の森プランニング
浜松建設一級建築士事務所

施工者 株式会社浜松建設

建設地 南島原市布津町

敷地面積 499.00m²

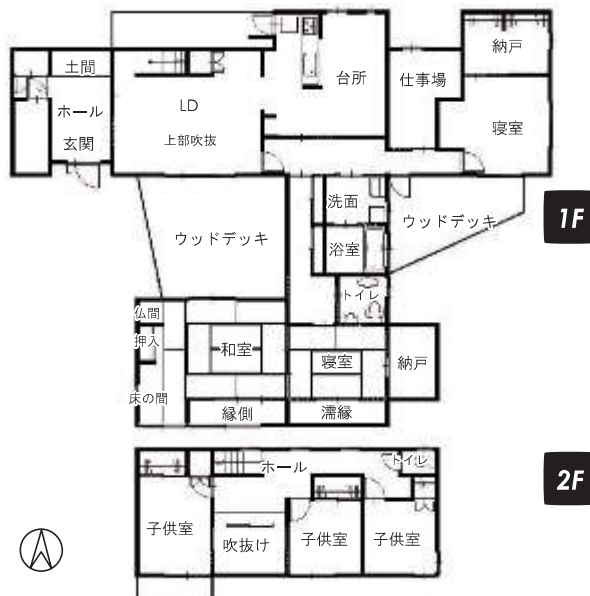
1階床面積 179.21m²

2階床面積 49.24m²

延床面積 228.45m²

住宅の特徴

母屋と離れはウッドデッキで結びそれぞれから往来が出来ます。部屋の配置は、家族全員が1階に集まる空間としました。





特別賞



修復・改修し現代生活に適応再生された
武家屋敷(国の登録文化財、県の景観資産)



平戸市 O邸

DATA

設計者 株式会社アルセッド
建築研究所

施工者 白石建設株式会社

建設地 平戸市岩の上町

敷地面積 3,173m²

1階床面積 160m²

2階床面積 48m²

延床面積 208m²

住宅の特徴

武家屋敷の流れをくむ住まいです。開放的な座敷を残しながら古材の温もりと快適さを併せ持つものとなりました。





特別賞



修復・改修し現代生活に適応再生された
武家屋敷(国の登録文化財、県の景観資産)



平戸市 O邸

DATA

設計者 株式会社アルセッド
建築研究所

施工者 白石建設株式会社

建設地 平戸市岩の上町

敷地面積 3,173m²

1階床面積 160m²

2階床面積 48m²

延床面積 208m²

住宅の特徴

武家屋敷の流れをくむ住まいです。開放的な座敷を残しながら古材の温もりと快適さを併せ持つものとなりました。

